

# 会 議 録

## 1 会議名

令和2年度第2回上越市地域包括支援センター運営協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

(1) 令和2年度地域包括支援センターの運営状況について（公開）（資料1）

・令和2年度重点取組業務

・業務実施状況

・地域包括支援センターの活動に関するアンケート調査について（資料2）

(2) 上越市第8期介護保険事業計画・第9期高齢者福祉計画（案）について（公開）  
（資料3）

(3) 令和3年度地域包括支援センターの運営について（公開）（資料4）

・令和3年度重点取組業務

その他

すこやかに老いるための市民啓発講座について（公開）（資料5）

## 3 開催日時

令和3年2月10日（水）午後7時から8時20分まで

## 4 開催場所

福祉交流プラザ2階 第1会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：金澤責(会長)、竹内明美(副会長)、竹田陽子、秦里美、植木信宏、  
田中美紀、馬場隆信、佐藤貴規、桑原正史、青山隆一、加藤智範、  
押山貴光 磯部多津子

・事務局：市川福祉部長

すこやかなくらし包括支援センター 渡辺所長、岩崎次長、高宮上席社会  
福祉士長、福田副所長、佐藤保健師長、板垣主任、坪井主任  
高齢者支援課 三上課長、小松係長

## 8 発言の内容

### (1) 令和2年度地域包括支援センターの運営状況

- ・令和2年度重点取組業務
- ・業務実施状況
- ・地域包括支援センターの活動に関するアンケート調査について

坪井主任：資料1、資料2、資料6により説明

押山委員：地域ケア個別会議について、私も実際に参加したが、大変有意義な会だった。

事例提供者の地域包括支援センター職員も新たな気づきがあったと喜んでいたり、  
ことが印象に残っている。来年度以降も引き続き、開催していただきたい。

桑原委員：地域ケア推進会議について、会議の構成メンバーと会議の内容を聞きたい。

坪井主任：構成メンバーは、ケアマネジャーや民生委員、町内会長、地域の方々など、  
事例に合わせて参加いただいている。内容としては、認知症の方の地域での見  
守り支援や、障害担当の相談員と地域包括支援センター職員との顔合わせを兼  
ねたネットワークづくりなどである。

秦委員：業務実績の集計について、1枚目の高齢者支援業務の下から二つ目、サービス  
担当者会議の件数が包括によってばらつきがあるが、カウントの仕方が誤って  
いるのか、実件数なのか。

板垣主任：包括によって計上方法にばらつきがあることを確認しているため、今後、集計  
方法を整理していく。

秦委員：1月の大雪の際、地域包括支援センターとして高齢者世帯や高齢者に対してど  
のような支援をされたのか確認したい。

佐藤保健師長：今回の大雪では、地域包括支援センターに非常に多くの電話をいただいた。遠  
方の親戚の方などから安否確認を依頼される電話もあったと聞いている。また、  
地域包括支援センターで把握している高齢者に電話で安否を確認したり、大雪  
で受診ができず処方薬が不足し、包括の職員が本人に代わり調剤薬局へ相談し  
たケースもあった。除雪に関する相談もあり、本来業務ではないが、高齢者の安  
全に関わることと判断し、相談に応じていた。

秦委員：資料6業務実績の「障害者等（ひきこもりの人を含む）支援業務」について、  
「○相談経路」の「その他」と「○相談方法」の「その他」を具体的に教えていた

だきたい。

高宮上席士長：「○相談経路」の「その他」は、民生委員などからの情報提供である。「○相談方法」の「その他」については確認し、後ほどお答えする。

竹田委員：地域ケア推進会議と研修会を兼ねた形で、民生委員と合同で研修をした。その中のグループワークにおいて、実際に困った事などについて意見交換を行い、顔の見える関係を築けたことは、とても有意義だった。今後も継続していただきたい。また、認知症の方や独居高齢者世帯が増えてきている中で、地域の見守り体制やネットワークづくりを具体的かつ計画的に進めることを要望する。

## (2) 上越市第8期介護保険事業計画・第9期高齢者福祉計画（案）について

三上課長：資料3により説明

## (3) 令和3年度地域包括支援センターの運営について

- ・令和3年度重点取組業務

板垣主任：資料4により説明

金澤委員長：医療介護連携の推進について、どのような研修会を予定しているのか。

佐藤保健師長：地域の実態に合わせて地域包括支援センターが計画する。

内容は、医療介護連携の目的や必要性、具体的な連携方法、各種ツールの活用等の共有が想定される。今年度地域包括支援センターが開催した研修会では、事例検討を通して医療側と介護側双方で連携することが望ましい情報について、相互理解を図ることができた。コロナ禍であり、地域包括支援センターにはウェブ会議等の活用も含め企画をお願いしたいと考えている。

金澤委員長：様々な会議でZOOMを使用しているが、紙面会議よりもコミュニケーションも取れ非常に有用である、ぜひ活用してほしい。

青山委員：2番の医療・介護の連携の推進で、ICTの活用を周知するとある。かなり前からMCネットの登録が呼びかけられているが、現在、どのような状況で進んでいるのか、具体的に効果が出ているのか。

佐藤保健師長：上越地域では、現在情報共有ツールとして、MCネットを採用し、活用している。MCネットは、医師会の在宅医療推進センターで運営しており、市では最新の加入率を把握していない。令和元年度末では、居宅介護支援事業所の加入率が約7割、訪問看護は約9割、地域包括支援センターは100%の加入率と聞

いている。

青山委員：令和元年度の加入状況は、医療職の登録が少ない。歯科医師会ではほとんど増えてないと思う。医師会の登録状況はどのような状態なのか。

金澤委員長：加入は強制ではない。また、在宅医療をしているかどうかとも関係してくる。医師会として推進をしていきたいとは思いますが、足並みがそろっていない状況である。医師、病院、診療所の加入率も上げていかなければいけない。医師会としても再度、検討していきたい。ケアマネジャーの今の状況をお聞かせいただきたい。

秦委員：一方的に送っても相手が見てないこともあるし、業務の中で必ず確認するようになってはいないので、活用していない方も少なくない。医療機関とは電話でタイムリーに連絡を取り合ったり、一緒に医院に伺って相談したりしている。MCネットは利用者に了解をもらう必要もあり、なかなか活用が進んでいかないのが実態。こういうご時世なので、有効利用できれば良いと思っている。

金澤委員長：便利なツールなので、活用、推進をよろしくお願ひしたい。ICTの活用は全国的な流れで遅れてはいけないと常々思っている。医師会も全面協力しながら、推進していけたらと思っている。

植木委員：MCネットについては、当事業所では気軽な感じで使っている。浸透すれば、ものすごく楽なツールだと思うので、今後も広げていただければと思う。

質問ではないが、資料4の③の複合的な課題を抱える世帯への対応について、関係機関との連携に力を入れて欲しい。ケアマネジャーのなり手が少なくなってきたと感じる。経済的な心配のある人やキーパーソンがいない、家族に障害があるなど、複合的な課題のあるケースへの対応について、関係機関が連携した対応がしっかりできるようになると、ケアマネジャーのなり手も増えてくると思う。連携の強化は、今後の課題としてしっかりやっていただきたい。

佐藤委員：資料4①の地域ケア会議において、地域での見守りに関する地域課題の整理を行うことは大切なことだと思う。一方で、地域では、自分たちの地域をどのようにしていくかということ、住民らが計画化していこうという動きがある。その動きに注視していただき、地域ケア推進会議と連動できれば、地域の見守りや地域課題に向けた住民の取り組みがより進んでいくと思う。

また、介護保険の事業計画と高齢者福祉計画の上位計画として、第2次地域

福祉計画が位置付けられていると認識している。計画の基本理念は地域福祉計画と同じ理念を掲げている。地域包括ケアシステムの構築と一人一人の出番を創出するという基本目標について、上位計画と各個別計画で、どのように整理しているか、教えてほしい。

三上課長：地域福祉計画は上位計画になる。基本理念は上位計画に基づき、同じ基本理念としている。介護保険と高齢者福祉というところで、地域福祉全体というよりも対象が限定されている部分もあるので、基本理念は一緒だが、基本目標は資料の30ページにある三つを基本目標として整理した。地域福祉計画の地域包括ケアシステムの構築をさらに進め、地域包括ケアシステムの定着を図ろうとするものである。

金澤委員長：最後にその他について事務局、説明をお願いいたします。

佐藤保健師長：資料5により説明

高宮上席士長：先ほど議題(1)でお答えできなかった資料6業務実績の「障害者等(引きこもりの人を含む)支援業務」について、お答えしたい。まず「○相談経路」の「その他」については、民生委員、町内会長、ご近所の人、相談対象者の勤務先の人、商店の方などが含まれている。「○相談方法」の「その他」については、別の目的で集まった会議や講座、研修会の終了後に相談があったものになる。

金澤委員長：令和2年度は地域包括支援センターの活動に高齢者支援だけでなく、障害者支援なども加わり、その上、コロナや大雪があったり非常に大変だったと思う。私のところにも認知症の患者さんが来ることがある。きっかけとして、帰省した家族が気づいて連れてくることは確かに多い。帰省する方がいなければ、気づくこともないということに今日、気づかされた。雪だけではなく大雨や川の氾濫など自然災害の時にも、この経験を生かすことができるのではないかと感じた。

岩崎次長：委員の任期は本年7月末であるが、任期中の定例会議は本日で終了となる。

令和3年7月以降の委員の選出について、令和3年度の早い段階で関係機関へ依頼させていただきたい。

青山委員：歯科医師会については、毎年7月に役員交代となるので、年度早い時期での委員選出は難しいので、配慮いただきたい。

## 9 問合せ先

福祉部すこやかなくらし包括支援センター支援係

TEL : 025-526-5623 (内線 120)

E-mail : sukoyaka@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。